

## 島前高校だより

今月は、先日（3月1日）卒業を迎えた3年生に、西ノ島町や島前高校での生活を振り返ってもらいました。

まずはじめに、3年間お世話になりました。この3年間、西ノ島の方々のお陰で、多くの経験をさせていただきました。特に、役場、観光協会の方々にはイベントの際など、そして市部地区の皆さんには、毎年のシャラ船送りや初詣り、地区清掃などでお世話になりました。その他にも、多くの方々に支えていただいた3年間でした。

「宮崎県を離れ、この島前にやってきたのは3年前か…」と思うと、とても早い3年間でした。こう思えるのも、西ノ島の皆さんのお陰です。本当にありがとうございました。

この3年間の思い出は、何と言っても西ノ島の皆さんとの出会いです。イベントのお手伝いや、インターンシップ、ワークショップなどに参加すると、皆さんから「最近どう?」「今日も頑張っているな。」「次もよろしく!」と声をかけていただいて、その言葉にいつも元気をいただいていた。

最初は島親さんの関係で、西ノ島に通うようになりました。そして、だんだんと「西ノ島のために」という想いを持つようになり、様々な活動をするようになりました。

島前に来てからは、特に「誰よりも行動すること」を大事にしてきました。自分がやりたいと思ったことに関しては、多くの方に協力いただきながら行動に移してきました。先日は、新図書館の建設現場仮囲いに絵を飾るという、町のイベントに高校生の作品を掲示しました。自分が島前高校として参加したいと考え、高校内で絵を集めたのですが、これも多くの方々の支えがあったからこそ実施できたことです。

いつも、西ノ島のために何かできないかと思い活動してきましたが、毎回、西ノ島の皆さんに支えられっぱなしでした。島前高校卒業後は大学に進学し、まちづくりや政策立案などについて学ぶ予定です。西ノ島、そして地元の宮崎に貢献できる人になりますので、今後ともよろしく願い致します。また、帰ってきます。



みわ ともひろ  
三輪 知寛（宮崎県出身）  
【島親：三角 久男さん（市部）】

私は生まれてからずっと、18年間、西ノ島で育ちました。そして、島を離れる先輩たちを見ながら、「自分にはまだ遠いことだ」と思っていたのに、もう高校3年生になってしまいました。

私がこの島の生活で一番思い出深いのは、友達と過ごした学校生活です。小学校が統合してから今までずっと一緒だった友達はすごく大切に、大好きです。普段の授業も、給食も、休み時間も、みんなのお陰で全部幸せでした。ケンカもしたし、気に入らないことも多くありました（今もあります）が、それも理解し合って仲良く過ごせたので一生大切にしたい仲間です。

でも、小学校が統合した直後は、黒木小学校に戻りたくて仕方がありませんでした。それまで3人だったクラスがいきなり20人になり、よく知らない男子もいて、やっていけるのかすごく不安だったからです。それでも、時間が経つにつれて仲良くなって、20人みんなで楽しめるようになりました。中学に上がってからは、休みの日は釣りに行ったり、国賀にドライブに行ったりしました。夏はみんなで海に行き、西ノ島をたくさん満喫しました。そして、昨年と今年はみんなで一緒に初詣に行って、今年は年越しも一緒に過ごしました。来年も再来年も一緒に過ごせたら良いと思います。

また、私は3才から島前神楽をやってきました。お祭りで舞うなど、色々なところで神楽をすることで地域の人とたくさん話ができたり、島根県内や東京でのイベントに参加できたりして、いい経験ができたと思います。将来、西ノ島に戻ってきたらまたやりたいですし、子供ができれば子供にもやらせてあげたいです。

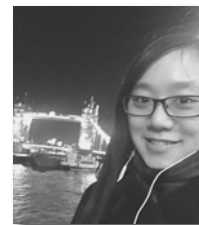
これで、いったん島を離れます。今の自分よりもっと成長したいと思っています。そして、島に戻って大好きな西ノ島のために少しでも役に立てるようこれから頑張ります。



いとう ゆうな  
伊藤 有那  
（別 府）

## 香港での出産に関する行事・風習

「<sup>さんかんしおん</sup>三寒四温」と申しますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。  
昨年10月と年始の頃、私の従兄と従姉の子どもが生まれたので、1月に香港へ帰った際に赤ちゃんたちに会いに行きました。  
今月は、香港での出産のお祝い行事や風習などを紹介したいと思います。



国際交流員  
ウォン・チンイン・クレオ

### 香港にも「お七夜<sup>しちや</sup>（誕生から7日目のお祝い）」はありますか？

残念ながら香港にはこの行事はありません！香港では赤ちゃんの名前は生まれる前に決める方もいますし、生まれた後で色々な選択肢から選ぶ方もいます。香港の法律では、赤ちゃんが生まれた後1ヶ月以内に出生届を提出しなければなりませんので、1ヶ月以内に決めれば基本的に何も問題はありません。

ちなみにお母さんと赤ちゃんの退院祝いはあまりしないです。

### 香港ではどんな赤ちゃんのお祝いや行事がありますか？

香港では赤ちゃんが生まれて12日目に、「猪脚薑」（広東語読み：ジューギョッキョン）と言う料理を親戚、ご近所や知り合いに配って食べます。「猪脚薑」は豚の後足と卵と生姜をスパイスたっぷりの甘い酢（墨みたいに真っ黒の酢）で煮込んだ料理です。なぜ後足を使うのかと言うと、前足は煮込めば煮込むほど固くなるからです！



▲猪脚薑

香港では豚の足はマーケット（市場）で買えるので、材料を集めるのは難しくありません！「猪脚薑」は産後のお母さんが栄養を補うことができるので、「坐月」（広東語読み：チョユツ）と言うお母さんが回復する時期によく食べます。

他には、「満月」（広東語読み：ムンユー）または「百日宴」（広東語読み：バクヤツイン）と言う食事のお祝いがあります。「満月」と言うのは赤ちゃんの生後1ヶ月に開かれ、「百日宴」は生後3ヶ月または100日に開かれます。赤飯や鯛などは食べませんが、最後に出てくる1品は必ず「紅雞蛋」（広東語読み：ホンガイダン）です。「紅雞蛋」は殻を赤く染めた茹で卵です。この赤い卵は赤ちゃんの「満月」の食事会以外に、還暦以後の伝統的な食事会にも出します。



私が子どもの頃は「満月」の食事会が多く開かれていましたが、今は「百日宴」の方が多いです。なぜかと言うと、赤ちゃんは生まれて3ヶ月が経ち、生後1ヶ月よりも元気だからです！

### 香港の産休はどれくらい取れますか？育休も取れますか？

香港では法律があり、原則では産前4週間、産後6週間の休暇となっています。

また、会社によっては産前2週、産後8週のパターンもありますが、基本的に産前産後合計10週間の休暇があります。契約社員や正職員もこの10週間の産休しかありませんので、産休の後は残った年休を使って、休暇を延長する場合があります。

育休ですが、香港には法的な規則がないので、育休はありませんよ！